

特集展示 岩田正巳

2021年1月23日(土)～3月21日(日)

休館日：1月25日(月)／2月1日(月)・8日(月)・15日(月)／3月1日(月)・8日(月)

現在の新潟県三条市出身の日本画家・岩田正巳（いわた・まさみ、1893～1988／明治26～昭和63）の作品と資料を当館所蔵品によってご紹介します。

当館では、2015（平成27）年度に《初秋》と《熄やむ》を収集、2017（平成29）年度にも、作品と下絵、スケッチ等のほか、資料を収集しました。それらの作品や下絵のうち、主なものは2017年度から2019（令和元）年度にかけて修復し、軸装や額装を施しました。

《初秋》と《熄やむ》は当館でも過去に展示していますが、今回展示する『大和絵粉本』の一部や、舞台美術、装丁の仕事、インド旅行のスケッチなどは、当館では収集してから初めて展示するものです。

当館所蔵の岩田正巳の資料については、今後も調査と研究を進めていきます。また、今回展示できなかった軸装作品についても、今後、機会を見つけて展示したいと考えています。

出品リスト ※作者はすべて岩田正巳

作品名	制作年	素材／技法	寸法(cm)
『大和絵粉本』より	制作年不詳（大正時代）	紙本墨画	各 37.5×26.8
初秋	1923（大正12） 第3回新興大和絵会展	絹本彩色	84.5×62.0
（舞台美術、装丁の仕事）	（昭和時代）	紙本彩色	（5枚）
（日本古代史 挿絵原稿）	（昭和時代）	紙本彩色	39.2×54.8
熄 <small>や</small> む	1965（昭和40） 第8回日展	紙本彩色	177.0×168.2
（アンセリウムと人形 スケッチ）	制作年不詳	紙本彩色	61.3×42.5
（インド旅行のスケッチ）	1962（昭和37）もしくは 1973（昭和48）	紙本彩色	各 23.4×15.5 （小）21.0×14.8
（天女 下絵）	制作年不詳	紙本彩色	45.5×53.0
天女	制作年不詳	紙本彩色	49.7×62.5
（松と桜 下絵）	制作年不詳	紙本彩色	44.4×60.0